



## きょうりゅう なまえ 恐竜の名前はだれがつけたの

### きょうりゅう な おや 恐竜の名づけ親

きょうりゅう な こせいぶつがくしゃ かれ いま  
恐竜の名をつけたのは、イギリスの古生物学者リチャード・オーエンです。彼は、今まで  
はっけん こだいせいぶつ なか げんだい おお からだ ました  
発見された古代生物の中で、現代のトカゲににているがはるかに大きいもの、体の真下につ  
いてはるなが ふと あし ある おそ  
いている長く太い足で歩いていたらしいものを、デノサウリア(恐ろしいトカゲの意味)  
とよぶことを、1841年の科学会議で提案しました。

### きょうりゅうがい きょうりゅう 恐竜以外の恐竜

きょうりゅう いま おく まんねんまえ まんねんまえ ちゅうせいだい おお  
恐竜は、今からおよそ1億5000万年前から6500万年前の、中生代とよばれる大む  
かしに栄えた爬虫類です。厳密には、魚ににた魚竜、空を飛ぶ翼竜などは恐竜には含めませ  
ん。

### きょうりゅう さか りゅう 恐竜が栄えた理由

きょうりゅう はちゅうるい おお こつばん こかんせつ いま うま うし おな つく  
恐竜がほかの爬虫類と大きくちがうのは、骨盤の股関節が、今の馬や牛と同じような作り  
になっていたことです。このため、足をまっすぐにのばして立ち、歩き回ることができ、す  
ばやくはし とお いどう た ある まわ  
ばやく走れ、遠くまで移動できました。こうして、すみ場所をどんどん広げることができた  
ので、にくしょく そうしょく しゅるい う  
で、肉食や草食のものと、さまざまな種類が生まれてきました。

(監修・今泉 忠明)

